

がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター

がん相談支援センターの取り組み

北海道のがん患者さん支援の充実に向けて
がん治療とソーシャルワーク専門部会研修会2023
2023年1月24日

国立病院機構 北海道がんセンター
医療ソーシャルワーカー 木川 幸一

がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等を行います。

地域におけるがん医療を担う者、行政、患者団体等の関係団体にも積極的に関わる。

自施設のがん患者に限らず、他施設でがん診療を受けている、または受けていた患者についても関わる。

地域の医療機関等との連携等を図り総合的に支援

1

2

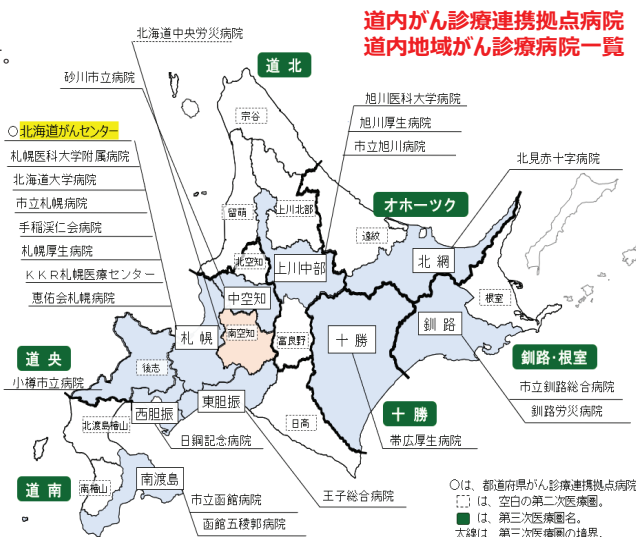
北海道のがん診療連携拠点病院

指針（令和4年8月）「がん診療連携拠点病院等の整備について」
＜がん相談支援センターの業務＞

北海道がんセンターは
都道府県がん診療連携拠点病院です。

- がん診療連携拠点病院：**
地域のがん医療の連携拠点
- ◆ 専門的ながん医療の提供
 - ◆ がん診療の連携協力体制整備
 - ◆ 患者への相談支援
 - ◆ 情報提供
- などの役割を担っています。

- 地域がん診療病院：**
拠点病院と連携し
- ◆ 専門的ながん医療の提供
 - ◆ 相談支援
 - ◆ 情報提供
- をおこなっています。



①がんの予防やがん検診に関する情報の提供

②がんの治療に関する一般的な情報の提供

- ア がんの病態や標準的治療法
- イ 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する医療機関
- ウ アスベストによる肺がん及び中皮腫
- エ H T L V - 1 関連疾患である A T L
- オ セカンドオピニオンの提示が可能な医師や医療機関の紹介
- カ 高齢者のがん治療
- キ 患者の治療や意思決定

③がんとの共生に関する情報の提供・相談支援

- ア がん患者の療養生活
- イ 就労（産業保健総合支援センターや職業安定所等との効果的な連携）
- ウ 経済的支援
- エ 小児がんの長期フォローアップ
- オ アピアランスケアに関する相談

④ その他

- ア 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報収集・提供
- イ 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- ウ 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- エ その他相談支援に関すること

○以下に示す項目については自施設での提供が難しい場合には、適切な医療機関に紹介すること。

- ① がんゲノム医療に関する相談
- ② 希少がんに関する相談
- ③ A Y A 世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談
- ④ がん治療に伴う生殖機能への影響や、生殖機能の温存に関する相談
- ⑤ 障害のある患者への支援に関する相談

最新の情報は以下リンクからご確認ください。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_sitebyouinn.html

3

がん相談支援センターのご案内

●治療に直結する相談

- ・ 治療場所の選択
（予防・検診・セカンドオピニオン・緩和ケア・在宅医療）
- ・ がん治療
（手術、放射線治療、薬物療法、免疫療法、ゲノム医療、など）
- ・ がんの検査、症状、副作用、後遺症
- ・ がん治療の実績、臨床試験
- ・ 独居・老々介護など介護負担の軽減
- ・ 人間関係、告知、コミュニケーション

●社会生活・経済面に関する相談

- ・ 生活の再構築
- ・ 長期化する医療費負担
- ・ 生きがい・価値観
- ・ 就業、就学の問題



①がんの予防やがん検診に関する情報の提供

②がんの治療に関する一般的な情報の提供

- ア がんの病態や標準的治療法
- イ 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する医療機関
- ウ アスベストによる肺がん及び中皮腫
- エ H T L V - 1 関連疾患である A T L
- オ セカンドオピニオンの提示が可能な医師や医療機関の紹介
- カ 高齢者のがん治療
- キ 患者の治療や意思決定

③ がんとの共生に関する情報の提供・相談支援

- ア がん患者の療養生活
- イ 就労（産業保健総合支援センターや職業安定所等との効果的な連携）
- ウ 経済的支援
- エ 小児がんの長期フォローアップ
- オ アピアランスケアに関する相談

がん相談支援センター/22カ所の相談実績

件数 **27,313件**（2021年4月～22年3月）
（平均1,241件/施設単位：最大値5,124）

がんの治療
9,468

症状・副作用・後遺症
3,899

ホスピス・緩和
4,015

セカンドオピニオン
1,321



介護看護養育
5,595

不安精神的
5,321

医療費生活費
13,351

在宅医療
3,421

転院
3,202

社会生活 720 / 治療実績 121 / 就労 720 / 生きがい 1,296
告知 153 / 患者会 219 / グリーフケア 58 / 医療機関紹介 1,000
医療者との関係 1,422 / 患者家族間の関係 1,470

指針（令和4年8月）「がん診療連携拠点病院等の整備について」
＜がん相談支援センターの業務＞

④ その他

- ア 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報収集・提供
- イ **医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援**
- ウ 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- エ その他相談支援に関すること

○ 以下に示す項目については自施設での提供が難しい場合には、適切な医療機関に紹介すること。

- ① がんゲノム医療に関する相談
- ② 希少がんに関する相談
- ③ A Y A 世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談
- ④ がん治療に伴う生殖機能への影響や、生殖機能の温存に関する相談
- ⑤ 障害のある患者への支援に関する相談

北海道のがん患者さん支援の充実に向けて がん治療とソーシャルワーク専門部会研修会 2023 がん相談支援センター/22カ所のサロン実績

北海道がん患者連絡会と連携

回数 174回 延べ参加者 588名
(2021年4月～22年3月)

北海道がんセンターで開催している患者サロン (オンラインでの開催)



ひだまりサロン 患者の方患者家族の方どなたでも
ピアーズサロン 40歳代位までの年代を区切ったサロン
卵巣がんサロン 卵巣がん経験者の方
乳がんサロン 乳がん経験者の方

北海道がん診療連携協議会 相談・情報部会 調査 9

広大な北海道には全道各地にたくさんのがん患者や家族がおり、がん患者団体や患者支援団体も数多く活動しています。より多くのがん種の、より多くの患者や家族の切なる思いや願いを、議員や行政、医療機関などに発信するためこれらの活動団体と患者達が結束しようと、平成29年3月3日に設立されました。小さな力の結集が大きな力になろうと活動をしています。

◇がん患者さんとその家族、支援者の声を集約し、行政や医療機関に届けています。
 ◇北海道内のがん医療を推進する協議会や委員会の委員として参画しています。
 ◇がん患者さんとその家族、支援者との交流と連携を図るために交流会を開催しています。
◇道内各地の患者会やサロン、イベントの紹介をしています。

道内オンラインサロン開催の予定表

| 開催団体 | サロン名 | 開催日時 | 開催場所 |
|------------|---------|---------------------|-------|
| 北海道がん患者連絡会 | ひだまりサロン | 毎月第2水曜日 10:00~11:00 | オンライン |
| 北海道がん患者連絡会 | ピアーズサロン | 毎月第2水曜日 13:30~14:30 | オンライン |
| 北海道がん患者連絡会 | 卵巣がんサロン | 毎月第2水曜日 15:00~16:00 | オンライン |
| 北海道がん患者連絡会 | 乳がんサロン | 毎月第2水曜日 16:30~17:30 | オンライン |

北海道がんセンターについて

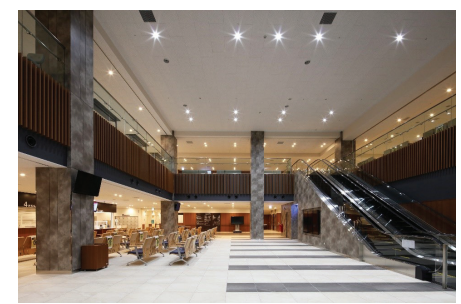
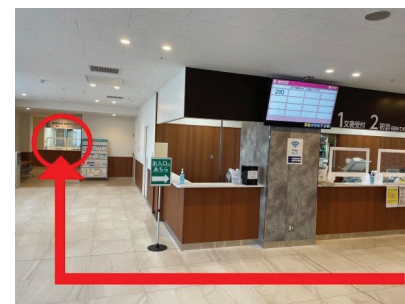
【病院概要】
 開設：明治29年
 歴史：札幌衛戍病院（その後札幌陸軍病院）として開院、昭和20年12月国立札幌病院（厚生省に移管）に改称、平成16年4月独立行政法人移行に伴い「北海道がんセンター」に改称
 平成21年2月都道府県がん診療連携拠点病院に指定
 病床数：運用430床 専門病院入院基本料（7対1）：9単位 緩和ケア病棟26床

看護単位10単位



北海道がんセンター 相談窓口

患者総合支援センター
がん相談支援センター



アピアランスケア相談

がん治療は身体的な苦痛と共に身体の外見（アピアランス）にも変化をもたらす
 近年、外見の変化に対しケアの必要性が認識されてきている
ウィッグレンタル等、いつでも対応できる窓口を開設



アピアランスケアルーム
のごあんない
 アピアランスとは外見・外観・容姿・見かけのこと。
 北海道がんセンターアピアランスケアルームでは、
 ウィッグ（かつら）、ヘア帽子、メイク、人工毛髪などの提供を始めており、
 自由に商品選びの順序および時期が可能です。
 ウィッグの種類レンタルの他に、顔カメーカのフェイスシートなどもご用意しております。
 これらからお撮りいただける。お撮りの方、外見に詳しくお撮りの方はお気軽にご相談ください。

アピアランスケアルームは、
 北海道がんセンター1F受付Eの左奥にあります。

どうぞお気軽に
 お立ち寄りください。

がん相談支援センター
 受付時間 9:00~17:00
 ☎ 011-811-9118 直通

就労相談

- 病気の治療と仕事の両立について知りたい。
- 治療のことで会社に連絡しにくい。
- 復職する際、以前のように働けるか不安だ。
- 病気や治療の内容から働き続けられるか不安がある。
- 医師からの指示を会社にどう伝えてよいかわからない。
- 就職したい、転職したい。

・ハローワーク
・産業保健総合支援センター
から定期的出張相談を開設



・札幌市「働く世代のがん患者への支援事業」申請窓口

がん患者さんのための「地域の療養情報」 「北海道がんサポートハンドブック」 掲載内容

- I 北海道の「がんに関する相談窓口」情報
- II 専門相談
- III 緩和ケアに関する情報
- IV 医療費・生活費・生活支援に関すること
- V 臨床検査説明資料
- VI ピアサポートに関する情報



2023年版は3月発行

【患者必携】北海道版 がん患者さんのための「地域の療養情報」 「北海道がんサポートハンドブック」 発行の経緯

「患者必携」は、がん対策推進基本計画（2007.6）に基づいて、療養生活での不安や悩みへの対応やがん医療のことなど、がん患者・家族の方に活用いただきたい情報を、がん患者・家族・医療従事者が患者・家族の視点で取りまとめたもの。

- 3部構成
- ①がんになったら手にとるガイド
 - ②別冊 わたしの療養手帳
 - ③地域の療養情報

がん患者さんのための「地域の療養情報」 「北海道がんサポートハンドブック」 概要

目的：
がん患者とその家族に地域で療養生活を送るために必要な情報を提供することにより、より質の高い生活を送ることができる環境を整備する

配布対象者：
全てのがん患者とその家族

配布先：拠点病院、道指定病院、道庁、保健所、対がん協会 他

規格：
A5フルカラー、1万部

編著：
北海道がん診療連携協議会相談・情報部会、北海道がんセンター



2013年版 2014年版 2015年版 2016年版 2017年版



2021年版 2020年版 2019年版 2018年版

“説明不足”？

「理解できていない」→「そんな説明聞いていない」

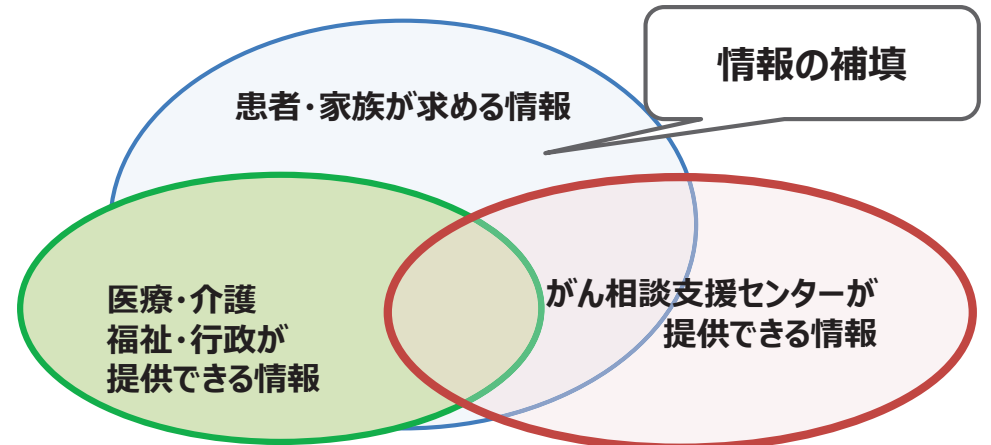
患者さん、ご家族が口火を切らないと始まらない

がん治療に対する患者さんの認識を確認する



正しい情報を使い、その人らしい生活や治療選択ができるように支援する

がん相談支援センターにおける情報提供の限界



他職種のお互いの特徴（強み・弱み）・違いを知り、お互い活用し合う

ご清聴ありがとうございました。



一般社団法人
北海道医療ソーシャルワーカー協会

がん治療とソーシャルワーク専門部会メンバー募集中！

